

＜白金標準先物、3年ぶりの賃金交渉開始を控え底堅い値動き・・・＞



(出所：オアシス)

プラチナの生産国である南アフリカでは、4月1日から3年ぶりにプラチナ鉱山で賃金交渉が開始される。特にプラチナ鉱山は昨年のパラジウムやロジウムの価格高騰で鉱山会社は大幅な収益を得ており、鉱山労働組合は大幅な賃上げを要求する可能性が高い。

既に世界第1位のプラチナ鉱山であるシバニー・スチール・ウォーターの金鉱山では、NUMとAMCU、UASA、連帯といったライバルの労働組合が共同で賃金交渉を昨年10月から開始し、3月14日は交渉決裂からストライキに入っている。

そのため今年のプラチナ鉱山の賃金交渉も4労働組合が共同で行う可能性が高く、混迷を深める賃金交渉になると予想される。労働組合は賃金引き上げ要求額の提示は行っていないが、世界第2位のプラチナ鉱山であるアングロ・アメリカ・プラチナの広報部は「約16万3,000人の労働者との賃金妥結が、主要な輸出産業の長期的な存続を脅かすことがあってはならない」と企業は警告を発するなど、2013年のAMCUが大幅な賃上げを要求した年と同じ対応を示している。そのため最終的に鉱山ストライキが操業停止の動きに結びつく可能性は高く、白金価格は底堅い値動きを今後続ける可能性が高くなると予想される。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDとシグナルは下げているが、ヒストグラムは縮小を示すなどMACDの下げ渋りを示している。またRCIでも短期が反転しながら長期は下げている、強気に転換する短期が長期を超えるクロスサインが予想され、下げ渋る値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 942,500 円(2022 年 3 月 22 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 34,540 円(2022 年 3 月 22 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>